



第 1465 回例会 2017 年 5 月 23 日(火) 12:30 開会点鐘 ロータリーソング「それでこそロータリー」番伊にて

ロータリーアワード顕賞

ゲスト 俊友会 合唱団 団長 橋屋 愈 様

石橋良和 様、岩本健弘 様、中村 務 様

ビジター 成田 RC 喜久川 登 様

第 1464 回例会(5/16)報告

進行：姥浦敏明 副 SAA

◎開会点鐘

◎会長挨拶 戸田 会長

本日のゲストは、公益社団法人 七尾青年会議所 理事長 清水真一路さんです。よろしくお祈りします。

さて、また北朝鮮がミサイルを発射して緊迫の度合いが増していますが、現在の指導者はご存じのように、3代目であり、諺に「三代続けば末代まで続く」とあるように、体制を守るためになりふり構わないように感じますが、続いてほしくないものです。

ところで、最近、学習参考書で「うんこ漢字ドリル」が、3月からの一か月半で100万部を超える売り上げだそうです。内容としては、小学校1年～6年で習う教育漢字(1006字)を、例文を載せながら学ばせるもので、ユニークなのは、その例文のすべてに「うんこ」の文字が入っていることで、小学生にバカ受けになっているそうです。ちなみに、常用漢字(2136字)のうち小学校で習う漢字を教育漢字というそうです。私が中学生のころ「少年ジャンプ」という漫画週刊誌で「トイレット博士」というギャグ漫画が爆発的に流行ったことがありましたが、これも「うんこ」を題材にしたもので、今も昔も子供は変わらないなと思いました。

本日も、たくさんのお出席ありがとうございます。

◎幹事報告 田中 副幹事

- ・等伯子ども写生大会表彰(5/14)に森副会長出席
- 七尾みなと RC 会長賞：梨田優衣さん(よつば保育園、5歳)
- ・今年度のお楽しみ券を早めにご使用願います。

◎出席報告 浜田 出席小委員長

会員総数 49 名(内、出席規定適用の免除者 4 名)出席者 29 名
メーク 5/13 次期地区社会奉仕委員会:茶谷

◎ニコニコ箱紹介 木村 ニコニコ箱管理小委員長

戸田 清水七尾 JC 理事長、今日は熱い想いを聞かせて下さい。

中越 清水理事長卓話ありがとうございます。今年はいへんな事業でたいへんですね。

姥浦昭二 先週の JC 主催のわんぱく相撲で、孫が小学 2 年生の部で大関となりました。

間蔵・森・姥浦敏明・岡崎・松井・伊藤・山本・久保・長・木村 清水理事長卓話ありがとうございます。

若者代表の話は楽しみです。

グリーン会より 参加された皆様、おつかれ様でした。川島さん優勝、高橋さん準優勝おめでとうございます。川島さん、伊藤さん、次回幹事よろしくお祈りします。楽しみにしています!!

5/16 日計 20,000 円 累計 1,162,650 円

月	日	曜	プログラム	週報担当
5	23	火	ロータリーアワード顕賞「俊友会合唱団」	勝木
5	30	火	ゲスト 国際ソロプチミスト能登会長 田中美智子氏 桂撤男石川第3分区ガバナー補佐訪問	西野
6	6	火	新会員卓話 佐味一郎 会員	山田
6	13	火	新会員卓話 杉藤隆志 会員・今井 徹 会員	中野
6	20	火	クラブ協議会「次年度事業計画案・予算案」	魚岸

会 長 戸田 一明
副 会 長 森 仁志
副 会 長 鳥畑 弘
幹 事 寺田 彰
広報ニューメンバーズ委員長 今井 富夫

創立1986年6月15日
RI 認証1986年6月26日
【国内第1721】



◎ゲスト卓話 『2017年度JCの取り組みについて』

公益社団法人 七尾青年会議所

理事長 清水 真一路 氏

こんにちは。私は（公社）七尾青年会議所理事長の清水です。会長戸田様率います七尾みなとロータリークラブの皆様、お招きいただき、誠にありがとうございます。長時間話すことは不慣れでお聞き苦しいこともありますがお容赦ください。

まずは自己紹介として、中学校にあがるまで、重度の小児喘息を持っており寝込むことも度々で、私の父親ほどにガリガリに痩せていました。それがなぜ、今のような恵まれた体格になったかと申しますと、野球やアメリカンフットボールなどスポーツを続けていたこともあります。一番は両親の苦労のお陰だと思っております。当時は当たり前だと思っておりましたが、親になって初めて実感しました。山登りも体質改善に役立ったと思います。息子（長男小2、次男年長組）2人と、大人の足で8時間の行程を一緒に登ったりしました。子供に長距離歩かせ、後々怒られたりしました。

それから、理由はわかりませんがなぜか家にテレビがありませんでした。もちろんゲームもありませんでした。テレビやゲームの話をする友達との会話はいつも相槌を打つだけ。持て余した時間に、他の兄弟は本を読み、私は野山を駆け回る日々を過ごしました。唯一テレビを見るのは、毎週日曜日の夜、祖父母の家にご飯を食べにいくことが習慣でした。今思えば祖父母と父母のコミュニケーションの方法だったのかと思います。大学生で一人暮らしを始めて初めて家にテレビが来ました。

趣味はゴルフです。デビューは昨年9月片山津カントリークラブ、スコアは174。今では118が最高です。来週のゴルフコンペの際もどうぞ宜しくお願いします。

JCの活動についてお話しさせていただきます。

2017年度の七尾青年会議所は「今こそ立ち上がれ！青年の志が未来を創る」のスローガンの元、二つのコンセプト「能動的市民の創生」と「こころの交流による人財の育成」をもって運動を展開してきました。

人口減少社会において、また肩車型社会が到来する時代において、今の生活基盤や社会をしっかりと保っていくためには、私たち市民ひとりひとりが仕事においては生産性を、地域においては社会性を育



むことが最善の策だと考えます。その為には私たちが自ら考え、意思決定を行い、行動出来る人間になること、即ち「能動的市民の創生」こそが今の地方において必要だと考えております。そして、その能動的市民を創生するために必要なのが「こころの交流による人財育成」です。人は人により磨かれると考えております。

幕末から明治、戦前から戦後、社会全体が大きく変化しようとする時代において、常に青年が先陣を切って行動してきました。

昨年度より日本JCは、目に見えるものから目に見えないものに価値を見出すことに取り組み始めました。リーマンショック後、世界経済は「リターン＝お金」という資本主義の際たるところ効率至上主義に限界を迎えました。今こそその資本主義のあり方を見直す必要があると考えます。今までの見える資産（お金や土地、株式など）から、見えざる資産（社員力、社風、企業文化、地域の信頼など）に価値を見出し、「経済性（利益の創出）と社会性（社会課題の解決）を両立する企業」へ成長する必要があります。この考えは昔からの日本型経営にあった。それは近江商人の「三方よし」の商売です。

三方よし 『売り手よし、買い手よし、世間よし』
松下幸之助『企業は社会の公器（おおやけのうつわ）。全ての関係先との共存共栄を考えていくことが大切』

取引先や社会から信用を得なければ、企業は長期的に発展できないと思います。

具体的に、日本JCは「VSOP運動」を昨年度展開しました。VSOPとは決してブランデーの銘柄ではありません。VSOP(Volunteer Service One day Project)です。日本語にすると「本業を通じた社会貢献活動」と指し、一般的にいうボランティア活動の

ことではありません。利潤だけを追求することから離れ、企業活動を通じて社会課題の解決に取り組む。その行為が企業に地域からの信頼という「見えない資産」を創造し、継続的な企業活動が出来るのです。

「リターン=お金」という効率至上主義から離れ、様々なステークホルダーと共通の価値観を見出すことが大切です。即ち企業のファンづくりに今後取り組む必要があると思います。

ファンを創るといえば、7月8日(土)「**地区フォーラム in 七尾**」を開催いたします。コンセプトは「七尾ファンを創ろう！次は愛するひとと」です。

内容といたしましては青柏祭をVR撮影したものを公開いたします。それから、能登ふるさと博オープニングイベントを同時開催します。七尾だけではなく能登の中核都市としての矜持を持ち、能登全体を広く発信したいと思います。大懇親会では能登全域の祭りをPRいたします。

「地区フォーラム in 七尾」地区協議会の取り組みといたしましてメインフォーラムを、講師 三橋貴明氏をお招きし、「地域が豊かになる！～インフラ促進で経世済民～」と題して行います。

なぜインフラの促進なのでしょう。今の日本は成熟社会であって必要なインフラは既に整備されています。不必要な高速道路や新幹線を土木業者の既得権益を守る為、国土交通省のメンツを守る為、整備が今も進んでいると考えてはいないのでしょうか。実はそれは誤解であります。現実には、先進国の中では、非常にインフラ後進国であります。例えば高速道路。アメリカやドイツでは時速80Km以上で走れる4車線以上を持った高速道路が整備され、各都市を基盤の目のように結ばれています。例えば新幹線。ドイツやフランスでは20万人を超す都市は殆どすべて新幹線が整備されている、しかし、日本はやっと北陸新幹線金沢開業が遂げられて、今後は大阪まで延伸する計画が立てられている段階。福井市を始め二十一の都市で未だ未整備の状態です。また欧米では都市間の交通インフラの整備だけではなく、その効果を更に高めるため、都市内交通インフラの整

備(LRT(ライトレールトランジット)に代表される)も着々と行われています。

インフラ投資がどれだけ地域に活力を与えるのでしょうか。

- ・ストック効果(整備後の結果)
- ・フロー効果(お金の流れが生み出す好循環)
- ・期待効果(整備が進むことに対する期待によりその地域に投資が起こる)

大きなインパクトを与えるのは実証済です。

なぜインフラ投資は進まないのでしょうか。リーマンショック後先進諸国は経済対策としてインフラ投資を積極的に行っています。日本は、平成8年を100とすると現在の水準はおおよそ半分。世論が厳しい。インフラ推進を主張すると「昭和の話だ」「日本列島改造論」「土建屋の既得権益を守るためだ」など。だから進まない。まずはしっかりとインフラ促進の必要性を主張できる世の中にしていく必要があると思います。東京一極集中の是正による地方創生や人口減少対策にもインフラ促進が叶っています。その為に、メインフォーラムを行うと同時に署名活動を行い県や国へ市民の声として届けたいと日本JCは考えています。

メインフォーラムは参加自由となっております。是非、皆様方にもお越しくださいますようお願い申し上げます。以上をもちまして本日の卓話とさせていただきます。ありがとうございました。

◎閉会点鐘

〔週報担当：奥井〕

次週予告

5月30日(火) 12:30開会点鐘 番伊

ゲスト 国際ソロプチミスト能登 会長 田中美智子 さん
桂撤男 石川第3分区ガバナー補佐

今週の例会担当者： 田中、佐味貴義、長田、木下徳泰、杉藤 (5/23)

次週の例会担当者： 木村、三井、永江、川島、岡崎、佐味一郎 (5/30)